



授業力向上フォーラム報告

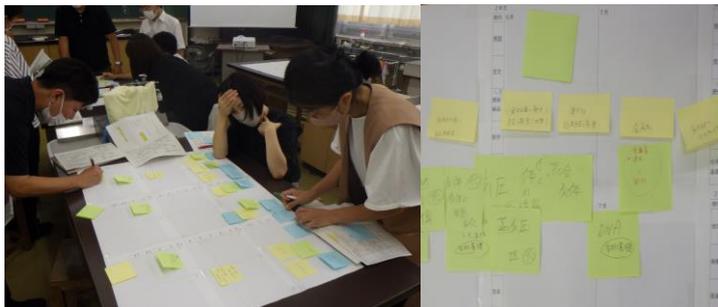
松田庄平 教諭 (化学)

8月中旬に産業能率大学主催の『授業力向上フォーラム』に参加しました。フォーラムの中で、chatGPTを初めとしたAIを用いた教育が特に印象に残っています。例えば、アメリカでは一部の大学で学生の興味関心にあわせた講義をAIで選択していたり、大学入学のための共通テストをパソコンで行なったりと、日本よりも先に進んでいるようです。加えて、芸術分野でもAIが台頭しています。フォーラムの中で例としてあげられていたのは、児童生徒が描いた絵をAIが分析し、最も近い画像を合成して提示することで、絵に対する苦手意識を低減する効果が期待されているようです。今回のフォーラムに参加して、教育の世界も日進月歩で発展していくことを改めて実感しました。アンテナを張り巡らせて、情報をアップデートしていきたいです。

単元配列表作成に参加した先生のコメント

「1年生のグループで話し合いをしていく中で、各教科の先生方がどんな力を生徒に付けさせたいか、ということを通目的として持てると良いと考えた。今後の教科横断型授業のヒントになった。」

「一つの題材をいろんな切り口で考える、多角的な思考を生徒に付けさせたい。例えば大学入試の小論文などは題材として適しているように思う。優れた題材を探して、早速取り組んでみたい」



第3回PT会議より

どうする？教科横断型授業 ～単元配列表の作成～

9/8 (金) 16:10～被服室にて、第3回の授業改善PT会議を行いました。まず松田先生 (化学) から、授業力向上フォーラムの報告がありました。

その後、教科横断型授業についての交流会を行いました。理想的には、教科横断型授業で育てたい「資質能力」を考えてカリキュラムを考えることを目指しながら、まずは先生方が知的好奇心を持ってワクワクしながら授業を計画できると良いね、という話をして、単元配列表の作成にすすみました。

- ・学年・学期で区切ってある時系列表を準備
- ・各教科の先生方で1単元/付箋をそれぞれ記入
- ・単元のしたに内容についてのキーワードを記入
- ・学期の考查範囲を参考にしてもよい

単元配列表を作成してみると、「この時期に〇〇をやっているなら、自分の教科の単元がスムーズに進みそう」とか、「△△の教科と教科横断型授業ができるな」という声が聞かれました。

9月にも多くの公開授業がありました。

9月13日 2-3生徒による公開プレゼンテーション
～オーストラリアへの留学を通して感じたこと～

9月15日・22日 海外研修講座
～ホームステイ・大学訪問の心構え～

9月19日・26日 TKF Project Presentations
～課題研究を英語でプレゼン・質疑応答～

9月28日 公共「大学縫う氏の女子枠を考える」

様々な授業実践を公開することで、武生高校の生徒・教員が楽しみつつ、生徒同士・教員同士が互いに学びあえるような「場」を作り上げることができるといいなと思います。今後もゆるく、楽しく活動を続けていけたらと思います。(山崎)